



2019年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月14日

上場会社名 リファインバース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6531 URL http://www.r-inverse.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 晶
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 和田 琢 TEL 03(5643)7890
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第1四半期の連結業績（2018年7月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第1四半期	638	17.2	△72	—	△80	—	△65	—
2018年6月期第1四半期	544	△7.6	16	△75.9	13	△77.4	9	△81.5

(注) 包括利益 31年6月期第1四半期 △65百万円 (—%) 30年6月期第1四半期 9百万円 (△81.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第1四半期	△21.84	—
2018年6月期第1四半期	3.01	2.99

(注) 当社は、平成29年4月1日に普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年6月期第1四半期	3,073	818	26.5	270.58
30年6月期	3,102	882	28.3	292.42

(参考) 自己資本 2019年6月期第1四半期 813百万円 2018年6月期 878百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	0.00	—
2019年6月期	—	—	—	—	—
2019年6月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年6月期の連結業績予想（2018年7月1日～2019年6月30日）

(%表示は、通期は対前期減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,696	11.9	69	481.6	36	—	29	△47.6	9.98

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2 2019年6月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は、新株予約権の行使を含めた予定期中平均株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年6月期1 Q	3,004,950株	2018年6月期	3,004,950株
② 期末自己株式数	2019年6月期1 Q	100株	2018年6月期	100株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年6月期1 Q	3,004,850株	2018年6月期1 Q	2,991,643株

（注）当社は、平成29年4月1日付けで普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(追加情報)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	10
(その他)	10
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いておりますが、一方、海外経済や政策に関する不確実性の影響などもあり、先行きについて留意すべき状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、産業廃棄物処理事業において基盤となる事業を展開しつつ、今後の成長の核となる再生樹脂製造販売事業の事業領域の拡大に向けて、昨年からは開始した新規事業の製鋼副資材製造販売は生産ラインがフル稼働で生産・販売をしており、持続的な成長のための事業基盤が強化されてきております。また成長に不可欠な新規事業に係る積極的な研究開発投資は継続しており、その成果として早期の新規事業立上げが可能な状況となってきております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、当第1四半期連結会計期間の経営成績は、売上高638,423千円（前年同期比17.2%増）、営業損失72,509千円（前年同期は営業利益16,735千円）、経常損失80,874千円（前年同期は経常利益13,991千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失65,616千円（前年同期は四半期純利益9,003千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 再生樹脂製造販売事業

再生樹脂製造販売事業につきましては、ホテル・オフィス関連を中心としたリニューアル需要は底堅く、使用済みカーペットタイルの調達量も順調に推移してきました。

また、底堅いリニューアル需要を受け、原状回復時のカーペットタイルの張り替え件数が増えていることに加え、インテリア業界においては環境対応製品の市場がさらに拡大しており、その基礎原料としての当社グループの製品に対する需要は引き続き堅調に増加しております。更に昨年からは新規事業として開始した製鋼副資材製造事業は強い需要に応じるために生産ラインはフル操業で供給しており収益に貢献しております。

一方で第1四半期連結会計期間においては、前期の課題となった新工場のライントラブルも解消し安定した生産状況が継続しております。また、人員の増強や新規リサイクル技術の研究開発費等の費用が増加しました。

この結果、売上高は199,427千円（前年同期比29.8%増）となり、セグメント損失は15,465千円（前年同四半期はセグメント利益592千円）となりました。

② 産業廃棄物処理事業

産業廃棄物処理事業につきましては、カーペットタイルリサイクルに関連したオフィス系改修工事に伴う内装系廃棄物処理は順調に推移しております。また、インバウンド需要に関連した商業施設やホテル等の大型改修工事に関しても受注件数は安定的に推移しており、市場が拡大しているマンション等のリフォーム・リノベーション案件においても、解体工事から収集運搬・中間処理までの一括受注体制の強化が引き続き業績に寄与しております。しかしながら廃棄物処理費用や外注費、燃料費などが増加したことが影響し、この結果、売上高は444,117千円（前年同期比11.7%増）となり、セグメント利益は13,468千円（前年同期比80.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,150,411千円となり、前連結会計年度末（以下「前年度末」という）と比べ17,931千円減少しております。これは主として現金及び預金が52,085千円減少、商品及び製品が42,125千円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は1,851,861千円となり、前年度末と比べ7,424千円減少しております。これは、主としてリース資産が7,540千円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における繰延資産は71,612千円となり、前年度末と比べ2,958千円減少しております。これは、主として開業費が2,958千円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は696,555千円となり、前年度末と比べ48,978千円増加しております。これは主として預り金が40,884千円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は1,559,229千円となり、前年度末と比べ13,082千円減少しております。これは、主として繰延税金負債が15,746千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は818,100千円となり、64,210千円減少しております。これは、主として利益剰余金が65,616千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の通期の連結業績予想につきましては、2018年8月10日の決算短信で公表しました通り通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	540,230	488,145
受取手形及び売掛金	346,021	333,899
商品及び製品	74,452	116,577
仕掛品	18,640	14,034
原材料及び貯蔵品	33,135	24,267
前払費用	37,494	23,114
未収還付法人税等	61,269	102,154
その他	57,404	48,784
貸倒引当金	△304	△564
流動資産合計	1,168,342	1,150,411
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	876,640	890,151
機械装置及び運搬具	801,124	868,461
工具、器具及び備品	76,806	77,379
土地	102,100	102,100
リース資産	111,533	103,993
建設仮勘定	24,915	40,424
減価償却累計額	△494,653	△589,299
有形固定資産合計	1,498,467	1,493,210
無形固定資産		
投資その他の資産	11,259	11,133
投資有価証券	30,000	30,000
繰延税金資産	206,040	206,040
敷金及び保証金	97,424	97,103
その他	17,936	16,205
貸倒引当金	△1,842	△1,832
投資その他の資産合計	349,559	347,517
固定資産合計	1,859,286	1,851,861
繰延資産		
開業費	74,570	71,612
繰延資産合計	74,570	71,612
資産合計	3,102,200	3,073,885

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,973	47,795
1年内返済予定の長期借入金	291,592	308,992
リース債務	27,876	26,469
未払金	192,196	180,681
未払費用	50,535	49,129
未払法人税等	17,800	1,190
未払消費税等	5,511	12,594
賞与引当金	—	14,057
その他	13,090	55,644
流動負債合計	647,577	696,555
固定負債		
長期借入金	1,325,652	1,334,104
リース債務	54,420	48,411
資産除去債務	149,095	149,315
繰延税金負債	43,144	27,398
固定負債合計	1,572,312	1,559,229
負債合計	2,219,889	2,255,785
純資産の部		
株主資本		
資本金	408,372	408,372
資本剰余金	456,410	456,410
利益剰余金	13,978	△51,637
自己株式	△96	△96
株主資本合計	878,665	813,049
新株予約権	3,645	5,051
純資産合計	882,310	818,100
負債純資産合計	3,102,200	3,073,885

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
売上高	544,419	638,423
売上原価	394,063	514,235
売上総利益	150,355	124,188
販売費及び一般管理費	133,619	196,698
営業利益又は営業損失(△)	16,735	△72,509
営業外収益		
受取利息	3	104
雑収入	988	—
その他	78	218
営業外収益合計	1,070	322
営業外費用		
支払利息	3,810	4,041
開業費償却	—	2,958
その他	3	1,687
営業外費用合計	3,813	8,687
経常利益又は経常損失(△)	13,991	△80,874
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	13,991	△80,874
法人税、住民税及び事業税	1,339	488
法人税等調整額	3,647	△15,746
法人税等合計	4,987	△15,257
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,003	△65,616
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	9,003	△65,616

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,003	△65,616
四半期包括利益	9,003	△65,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,003	△65,616
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	147,329	397,089	544,419	544,419
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,358	563	6,921	6,921
計	153,687	397,653	551,341	551,341
セグメント利益	592	68,899	69,491	69,491

2. 報告セグメント利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	69,491
セグメント間取引消去	△292
未実現利益の調整額	△436
全社費用(注)	△52,026
四半期連結損益計算書の営業利益	16,735

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	194,931	443,492	638,423	638,423
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,496	625	5,121	5,121
計	199,427	444,117	643,545	643,545
セグメント利益又は損失 (△)	△15,465	13,468	△1,996	△1,996

2. 報告セグメント利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,996
セグメント間取引消去	△265
未実現利益の調整額	△3,055
全社費用(注)	△67,191
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△72,509

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(その他)

前事業年度の有価証券報告書提出後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。